

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年 月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	尿路上皮癌
治療法	パドセブ単独療法

	1
抗癌剤・商品名	パドセブ
規格	30mg
一般名	エンホルツマブ ペドチン
一日投与量(規定)	1.25mg/kg(1日量上限125mg)
患者情報から算出した 一日投与量	62.5 mg
実際の投与量	60 mg
	1.2 mg/kg
投与日	day1,8,15
1クール期間	28日間
予定クール数	
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施

適応基準	がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌
推奨 経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。推奨される経口制吐剤はありません。
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
中止基準	投与前の好中球数:1000/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数:50,000/mm <sup>3</sup> 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	●パドセブ 重大 1.重度の皮膚障害 2.高血糖 3.末梢性ニューロパチー 4.骨髄抑制 5.感染症 6.腎機能障害 7.間質性肺疾患 その他 (30%以上)疲労、食欲減退、脱毛症、そう痒症 (10~30%未満)悪心、下痢、便秘、体重減少、無力症、味覚不全、斑状丘疹状皮疹、発疹、皮膚乾燥 (10%未満)嘔吐、口内乾燥、腹痛、発熱、浮動性めまい、ドライアイ、流涙増加、霧視、結膜炎、角膜炎、薬疹、皮膚色素過剰、 紅斑性皮疹、水疱性皮膚炎、紅斑、AST増加、ALT増加
備考	●前治療までにPD-1/PD-L1阻害剤を使用された歴のある患者のみに適用すること

パドセブ単独療法 観察記録

所要時間:1時間半

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	指示医師: パドセブ ( mg ) 一般名(エンホルツマブ ベドチン)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食250mL		1時間半かけて点滴【167mL/h】	
	生食100mL + グラニセトロン1A + デカドロン 2 A		30分かけて点滴【200mL/h】	
	生食100mL + パドセブ + 注射用水(パドセブ溶解用)		30分かけて点滴【200 mL/h】	
本体終了後除去				

アクシデント  
(過敏反応、不整脈、血管外漏出等)

お薬手帳



※身長160cm 体重50kg 体表面積1.5㎡の患者さんの場合の  
1日治療に掛かる抗がん剤薬価(day1のみ)  
○パドセブ:398,436円